



いのりの灯「キャンドル作り教室」(3年生)が開催されました。

4月25日(火)、がまだすドームボランティアの皆様5名をお招きして、3年生30名が、総合的な学習の時間「普賢岳災害について知ろう・伝えよう」の学習を行いました。



<はじめての挨拶:やはり挨拶は大切>

<今年の祈りの灯>

はじめに、語り部ボランティアの 大石和美さんから「雲仙・普賢岳 平成噴火災害」について講話をしていただきました。当時の普賢岳、溶岩ドーム、土石流、火砕流、人々の生活の様子、現在の祈念碑等の様子を見ながら講話をしていただく中で、随所に子供たちのつぶやきや感想が聞かれ、「しっかり話を聞いているなあ」、「深く考えている」といった感想をもった次第です。その後、持ち寄った牛乳パックと溶かした蠟ろうを使ってキャンドル作りを行いました。



<手を合わせてお祈りする形の祈念碑>

冷やして取り出した蠟ろうに、クレヨンを使って平和を願う、思い思いの絵や言葉(願い)をかいて、6月3日に灯されるキャンドルを作成しました。



<冷ました蠟の取り出し>



<クレヨンで願いや絵をかく>

終わりに、佐藤頼樹くんが「いつもは優しい普賢岳が怒った時があったこと、それで悲しい思いをした人たちがいたことが分かった。このキャンドルで普賢岳のことをもっと考えたい。」と感想とお礼の言葉を述べました。子供たちの豊かな心を育てる取り組みの一環でした。

6月3日の点灯式、時間が許される方は、ご家族で参加されてはいかがでしょうか。

運動会練習 本格的に始まる

運動会練習が本格的に始まりました。15日(月)からは、分校の子供たちも集団登校で本校登校をしています。高学年の班長・副班長をはじめ、高学年は、低学年の児童の安全を考え、歩くスピードも合わせながら登校していることと思います。まさに、自分たちが低学年の頃の経験があるからこそ、下級生への思いとして表れているのでしょう。また、地区・御家庭で低学年への面倒見について話していただいていることも大きいと思います。集団登校の際、**朝の元気な、そして爽やか挨拶が、お互いの笑顔をもたらしています。**御家庭や地域でのお子様の挨拶はいかがでしょうか。(変化は見られているでしょうか?)

今回の運動会は、代表委員会で話し合っただけで決めた**「みんなが主役!! めざせ優勝! 全力だ!!」**というスローガンのもと、練習に励んでいきます。走って速い人、表現・演技のうまい人に目が行きがちですが、一人一人の努力・自分のベストを尽す姿、また、その気持ちこそが、輝きを放ちます。

家庭訪問（自宅確認）ありがとうございました。

本校では、授業参観、学級部会、PTA総会の実施が実現しました。5月8日から、感染症法上の位置づけが5類に移行したこともあり、学校生活もコロナ禍前に戻りつつあります。

家庭訪問をして、皆様との懇談をとおして、児童理解を進めていきたいところでしたが、自宅確認のため十分でなかった部分もあるかと思います。担任自身が保護者の皆様と玄関先ではありますが、少しの時間だけでも話をさせていただいたことで、子供たちが普段生活している様子や場所を直(じか)に見聞きすることができ、今後いろいろな形で役立てていくことができるものと考えております。ご多忙の中、ご協力いただき本当にありがとうございました。

5類変更により、感染症対策が変わりますが、下記のことについて御理解いただければと思います。

1 運動会練習時には、熱中症のリスクを考え、マスクを外して臨みます。

マスクの着用は求めませんが、感染症対策の持ち物として、清潔なハンカチやティッシュ、必要に応じてマスクの携行が求められる場合もあります。(マスク着用は個人の判断にゆだねられます。しかしながら、感染状況によっては、学校行事・見学の際、マスク着用を求められる場合があります。……ご理解ください。)

2 児童の健康管理

発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合などには登校を控えさせてください。

3 基本的感染予防のため、手洗いの励行と換気の徹底、3密の回避に努めさせます。

4 黙食は求めませんが、食べながらの極端なおしゃべりは控えさせます。食べる時間にも限りがあり、食器回収のための時間も限られています。また、給食準備の際は、衛生上、全員マスク及びエプロン着用としております。

避難訓練（地震発生・津波想定）より

ここ10日間の内に、日本列島各地（石川県能登半島、千葉県、北海道、青森県、鹿児島県トカラ列島）において連続して地震が起きているのは御承知のとおりです。ほぼ時を同じくして、本校、分校において、「地震発生、それに伴う津波発生」を想定して、避難訓練を行いました。

地震の揺れが収まると、運動場等の建物が倒れる危険性のない場所へ一次避難。その後、津波を想定して、高台を目指しての二次避難を行いました。

（本校 → 柔剣道場 馬場分校 → 馬場第一運動広場 諏訪分校 → 川原端公民館）

地震が起こったら、①倒れそうな物から離れる、机(テーブル)の下に移動する。②出入り口(ドア等)の避難経路を確保する。③火の始末をする。 というように、地震が起きたときに取るべき行動を把握し、対策方法を理解しておく、いざという時に役立ちます。

